



黒川まさるの政策マニフェスト発信に向けて『愛する金沢再生プラン4』の内容とは。

12年前に初めて横浜市議員の選挙に立候補した時、金沢区民のみなさまにアンケートを行い、政策課題を抽出し、そこから自分自身のローカルマニフェスト『愛する金沢再生プラン』を作成・発信しました。

マニフェストに記載した政策については、何度もしつこく議会で取り上げ、多くの政策が実現しました。これらの実績

を検証し、あらためて区民のみなさまからご意見を伺い、次のマニフェストにつなげていくという『マニフェストサイクル』も3度の選挙を経て、4回目の発信に向けて作業中です。

初当選から4年後には横浜自民党として初めての政策マニフェスト『責任と約束』の策定責任者を務めました。同様にサイクルを経て今回の横浜市

議員選挙では3回目のマニフェストが、国連のSDGsに準拠した形式で完成しました。

政策課題は年を追うごとに変化し、それに対応した政策も進化させなければ時代から取り残されてしまいます。最新のマニフェストは3月中には発表しますが、その概要について今回の政策広報紙ともづなでは報告いたします。

愛する金沢再生プラン4 政策その1. 地域交流

これまでの取り組み

12年前に発信した小学校の空き教室を地域コミュニティの拠点にしようという政策は、大道小学校の『ふるさと大道村』を参考にした取り組みが全市的に広がったり運営協議会が出来て地域社会と小学校の距離は縮まりました。



これからの政策

小学校の拠点、地域の中で自発的に生まれた拠点、コミュニティハウスや地域ケアプラザといった行政主導の拠点、それぞれで活躍する人材の交流や情報交換を積極的に進め、成功体験を共有し、地域力を高める政策を求めてまいります。



東朝比奈のほっこりでは生演奏でフォークソング大会になりました。

最近の状況

地域コミュニティの拠点づくりは、金沢区では西柴の『さくら茶屋』を皮切りに、東朝比奈の『ほっこり』、内川の『森のお茶の間』、釜利谷の『ふれあいカフェ』など、地域のみなさんが独自の工夫を凝らした多世代が集える拠点が次々に生まれています。



愛する金沢再生プラン4 政策その2. 権限委譲

これまでの取り組み

新たな大都市制度の構築については、大都市制度特別委員長として、国の地方制度調査会へ働きかけるとともに、特別自治市構想として歩調を合わせようと他の政令市にも働きかけ、国や県からの権限や財源の移譲を求めるとともに、横浜市から各区への移譲も進めています。

これからの政策

権限の委譲については、県との協議機関が設置され一つ一つの事業の移譲を求めていくこととなりますが市民に分かりにくい崖対策や河川管理の権限などもすべて横浜市への移管を求め、将来はほとんどの事務事業は横浜市で担い、特別自治市を実現させます。

国とも協議して
横浜でできることは
横浜で完結し
二重行政をなくします。



最近の状況

横浜市の教職員の給与は財源が県から市に移譲されるとともに教員の配置などの自由度も高まりました。都市計画の整備・開発・保全の方針も政令市独自でできるようになり、大災害の際には救助実施市になると独自に迅速な活動が可能になります。



愛する金沢再生プラン4 政策その3. 議員改革

これまでの取り組み

8年前に策定責任者として発信した横浜自民党の条例制定マニフェストの実現をきっかけに議員提案条例は定着し、議員が作る条例を基に行政が政策を策定・実行し、議会がその効果を検証・評価して次の政策へつなぐ政策実現サイクルが定着しました。

これからの政策

全国組織のローカルマニフェスト推進連盟の共同代表として、横浜自民党をはじめとする全国各地の議会の先進事例を各都市間で共有し、良い政策が速やかに全国に波及する仕組みを作ります。新市庁舎の完成とともに議会のICT化に取り組みます。

Manifesto Awards
第9回マニフェスト大賞グランプリ 横浜自民党
第11回マニフェスト大賞 最優秀賞 黒川まさる



最近の状況

この四年間では、自民党として発信したマニフェストの検証を中間・最終と2度にわたって行い、参加した市民からも評価されました。よこはま自民党の政策実現プロセスは全国規模の政策コンテストマニフェスト大賞でグランプリを獲得しました。また、横浜自民党の広報委員長として、議会のペーパーレス化の実証実験を行いました。



愛する金沢再生プラン4 政策その4. 経済育成

これまでの取り組み

同僚議員と策定した横浜市中企業振興基本条例の効果で、市内中企業への横浜市からの発注は飛躍的に増大し、今では外郭団体や助成団体にも適用されています。議員になる前に仲間と取り組んだ横浜型地域貢献企業認定制度の認定企業数は450社を超え、定着しました。

これからの政策

市内中企業の多くが抱える、事業の承継・人手不足・財政的な不安などの解消のため、国とも連携して対策を推進していきます。

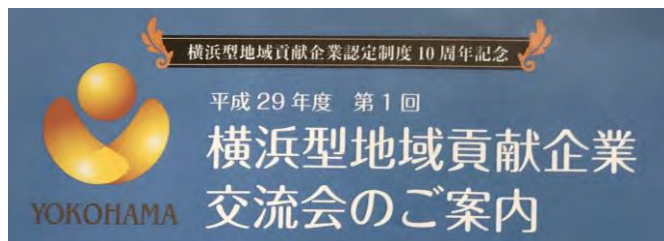
金沢臨海部では既存企業と進出企業が共存・共栄・連携できる体制を整え、起業家がスタートアップに選ぶ地区を目指します。



青空の下に区内の多くのものづくり企業が集まりました。

最近の状況

LINKAI金沢やAOZORA FACTORYといった金沢臨海部産業団地の新しい世代の経営者による新しい発想でのコラボが始まっています。ライフノベーション特区や国際戦略総合特区をきっかけとした新たな動きも生まれつつあります。



愛する金沢再生プラン4 政策その5. 観光振興

これまでの取り組み

交通事業者・2つの大学・観光施設などが集う金沢八景協定によって、推進体制が整いました。地産地消条例に金沢の漁業は明文化され、観光資源としても期待されています。横浜マラソンの折り返し地点、シサイドトライアスロンの会場としても市民アスリートに認知されています。

これからの政策

南部市場やベイサイドの大型商業施設に対しては地元との連携・共存・共栄を求めるとともに、外国人や国内・首都圏の観光客の取り込みを積極的に推進します。ラグビーW杯や東京五輪を契機に高まるスポーツツーリズムや歴史ウォーキング、海洋レジャーなど、体験型ツーリズムのメッカを目指します。



最近の状況

南部市場、ベイサイドマリナーナ地区の大規模商業施設の建設が進み、期待が膨らみます。

金沢自然動物園、八景島シーパラダイスの、2つの集客施設も改善の時期が来ています。ウォーキングによる歴史散歩に適した建造物や遺産も多く定着してきています。



愛する金沢再生プラン4 政策その6. 人口対策

これまでの取り組み

金沢区から始まった人口減少の傾向は、南部地域にも広がりつつあり、党内で人口減少対策に取り組む特別委員会の設置を提案し、昨年5月に出来た郊外部活性化特別委員会では、副委員長として、横浜市内各地の郊外部における現状や活性化の取り組み、国内各地の大都市における取り組みを調査・研究しました。

これからの政策

並木地区では、産業団地との連携による職住近接割引や、スーパの冷めない距離に子供や孫が住む近居割引、大胆なリノベーションなどが必要です。戸建ての住宅街の場合は、建築協定やまちづくりのルールを見直して小さな区画に分けて若い世代が求めやすい価格で呼び込むなどの工夫が大切です。



最近の状況

並木地区などのマンモス団地では、高齢化の進展とともに賃貸マンションを中心に空き室が増えている一方で家賃水準は高く、新たな入居者は増えていないようです。西柴や釜利谷などの丘の上の一戸建ての住宅街でも高齢化は深刻で、買い物難民・老々介護・独居老人・空き家といった課題が迫っています。



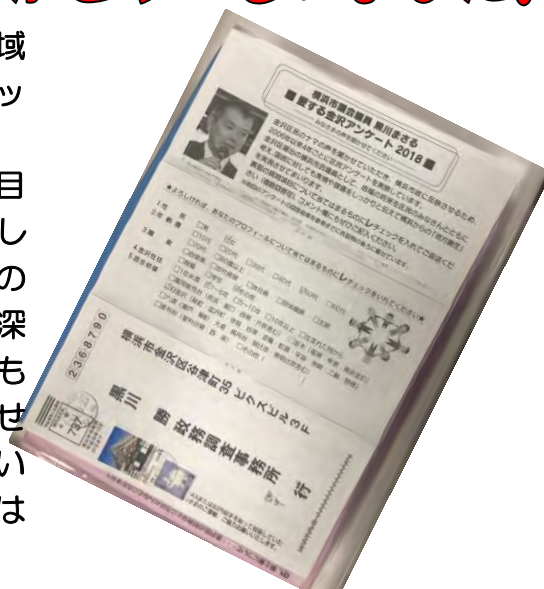
愛する金沢アンケートにご協力ありがとうございました。

今回も Manifesto の策定にあたっては、区民のみなさんにアンケート調査をさせていただきました。

1000通近い返信をいただき、区民のみなさんの金沢区の将来や地域の課題に対する関心の高さがよくわかりました。ひとつひとつの設問に対する回答の分析には紙面が足りませんが、自由にご意見などを書いていただく欄にも多くの

的確なご指摘や、ご自身の地域の課題、応援や叱咤激励のメッセージもいただきました。

「すべてのアンケートに目を通し、とても参考になりました。金沢区民のみなさんからの我が町金沢に対する愛情の深さに感動しました。これからも金沢区民・横浜市民のしあわせの実現に向けて頑張ります。」と黒川まさる市議は決意を語ってくれました。



市民に開かれた、わかりやすい政治を目指す、黒川まさる横浜市議員に対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。

.....
.....
.....

お名前・ご連絡先

返信FAX 045-786-4310 または masaru-k.net@hb.tp1.jp
ご意見をいただいた方にはお返事をさせていただきます。
(住所・メールアドレス・FAX番号何でも結構です。)